

取引適正化推進セミナー＆ワークショップ

その価格、本当に適正ですか？

“値付け”が企業の未来を決める！



「物価高騰でエネルギー費や原材料費が上がっているけれど、なかなか価格に転嫁できない」
「賃上げのためには価格アップのための価格交渉が必須。でもそもそも適正な価格って？」

そんなお悩みや疑問を解消する実践型セミナーを開催します！

参加
無料

定員：50名

2026年1月16日(金)
14:30～16:10

●開催場所

ACU-A 1605 研修室

札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 16階

●申込締切

2026年1月15日(木)

※申込フォームにて受付

●対象

企業経営者・企業支援機関等

●参加方法

会場参加

※オンライン配信はありません

14:30 開会・主催者挨拶

14:40 第一部 セミナー

「中小企業を取り巻く経営環境の変化～30年続いたデフレ経済からの脱却の意味」

program

日本がデフレ経済からインフレ経済へ転換する中で、中小企業は「価格競争から価値競争」への移行を迫られています。短期的にはコスト増による負担が大きく感じられるが、長期的には「適正価格」「人材育成」「生産性投資」を進めるチャンスです。デフレ型経営（守り）からインフレ型経営（攻め）への転換期において、過去基準ではなく未来基準でどこを目指すかを決めることが重要性についてお伝えします。

講 師



北海道よろず支援拠点
チーフコーディネーター

中野 貴英 氏

銀行の事業調査部で業界調査や企業診断を担当後、経営コンサル会社を経て、2007年に経営コンサルタントとして開業。2014年より北海道よろず支援拠点チーフコーディネーターに就任。3000社以上の支援に携わる。中小企業診断士。

15:00 第二部 ワークショップ

「ツールで見える”価格転嫁”の必要性～<価格転嫁検討ツール>の使い方を知る・体験する！」

中小企業基盤整備機構では、自社の価格転嫁の必要性が簡単に分かる「価格転嫁検討ツール」、利益を得るために売上高をシミュレーションできる「儲かる経営キック君」をWEB上で無料で公開しています。ワークショップでは、ツールの使い方をレクチャーするとともにケーススタディでツールの活用を実際に体験していただきます。

講 師

独立行政法人中小企業基盤整備機構 北海道本部
地域・連携支援課（兼）地域連携推進課長

森 一彦 氏

スクリーン上や紙資料で内容を理解していただけるプログラムとなっておりますが、インターネット接続が可能なノートPCやタブレットの持参を推奨いたします。
(会場には無料Wi-Fiが整備されております)

16:00 セミナーのポイント整理

○主催 / 北海道パートナーシップ構築宣言普及促進会議

<構成機関>

北海道経済連合会、北海道経済同友会、一般社団法人北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会北海道連合会、北海道労働局、北海道農政事務所、北海道経済産業局、北海道開発局、北海道運輸局、北海道

○協力 / 一般社団法人北海道中小企業家同友会 独立行政法人中小企業基盤整備機構 北海道本部

＜価格転嫁検討ツールとは＞

仕入れ・材料費や人件費、水道光熱費等のコスト増加分を価格に反映させたい中小企業・小規模事業者の皆様が商品別（取引先別）の収支状況も確認しながら、目指すべき取引価格を検討できるシミュレーションツールです。

- 商品別の収支状況を把握
- 数値を入れ替えて検証
- 目指すべき取引価格を試算
- ✓ Web で簡単 ✓ 登録不要
- ✓ 無料

商品別（取引先別）の収支状況を把握

売上高とコスト（仕入れ・材料費、人件費、水道光熱費等）を入力すると、コスト高騰前後の商品別収支状況を確認できます。

数値を入れ替えて検証

各コストの比率や金額を入れ替えて様々なシミュレーションすることにより、収支に大きく影響しているコスト及びその構造を見える化します。

目指すべき取引価格を試算

コスト高騰前後の経費に着目し、目指すべき取引価格（参考価格）を試算します。価格転嫁の必要性や検討すべきポイントを把握し、次の具体的なアクションにつなげます。

ツールの詳細は、
こちらのホームページよりご確認ください

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
<https://kakakutenka.smrj.go.jp/>

価格転嫁 中小機構



スマホ版は
こちらから

＜「儲かる経営キヅク君」とは＞

商品・取引先ごとの収支状況やコスト構造の変化を可視化し、将来目標とする利益を確保するために目指す売上高や改善すべきコストの優先順位を明確にすることで、価格転嫁の目安や商品戦略、事業戦略等を検討することができるシミュレーションツールです。

- 商品・取引先ごとの収支を把握できる
- 伸ばすべき商品・取引先が分かる
- 価格転嫁の目安を検討できる
- ✓ 業種別に入力 ✓ Web で簡単
- ✓ 登録不要

「過去」からの変化を知る

過去と現状の2期分の決算書の情報を入力すると、会社全体の収支状況の変化を確認できます。費用の項目が急増している場合は、コスト構造を確認しましょう。

「現状」を知る

現状の決算書情報に基づいて、コストを商品ごとに割り当てるときの商品・取引先ごとの収支状況が確認できます。そこから伸ばすべき商品・取引先を検討しましょう。

「将来」を考える

商品・取引先ごとのコストや収益をシミュレーションすることで、利益を確保できる価格やコストを知ることができます。また、会社全体で将来目指すべき営業利益や売上高の検討ができます。

ツールの詳細は、こちらのホームページよりご確認ください
ツールのご利用はパソコン（PC）からお願いします。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
<https://kakakutenka.smrj.go.jp/moukaru/>

キヅク君 中小機構



●開催場所

ACU-A 1605 研修室

札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 16階



●申込締切

2026年1月15日(木)

※申込フォームにて受付

申込みフォーム
はこちら



参加
無料

定員：50名

●お問合わせ先

取引適正化推進セミナー運営事務局
(北海道クリエイティブ(株)内)

TEL: 011-706-1050

MAIL: info@do-cre.jp